



まつなが たかお  
**松永 孝男** 議員  
(富岳会)

**側溝の危険防止対策について**

**問** ふたのない側溝で歩行者が転落して骨折する事故や自転車で転落して死亡する事故が発生している。最近5年間で側溝への転落事故は、どの程度把握しているのか。

**部長** 平成29年11月に歩行者が転落して右手を骨折した事故、30年10月に自転車で転落し、死亡した事故、また鉄工団地前の市道で高校生が転落して怪我をした事故の3件を側溝への転落事故として把握している。

**問** 通学路に、ふたのない危険な側溝はないか。

**教育長** 通学路は年に1回、各小・中学校へ通学路の改善要望調査を実施している。側溝のふたがないなどの危険な場所は、関係機関に依頼し改善している。また、全ての側溝にふたがあるわけではないので、子どもたちの危険回避能力を高める

ため、道路の歩行や通学の仕方について、学区の実情に応じた具体的な指導をこれからも行っていきたいと考えている。

**問** ふたのない側溝の短期的、長期的な危険防止対策を伺う。

**部長** 短期的な対策としては、車止めパイプに反射鏡を取り付けた小型のバリケードを設置するなどの暫定的な安全対策をする。長期的には、現地の状況や危険度などを判断し、計画的に側溝の改良を進め、危険防止を図っていきたい。

歩行者が転落した場所には小型バリケードを設置し、自転車で転落事故があった水路には、歩道として利用できるように順次、暗渠※化を進めている。事故のあった場所は、工事済み。高校生が怪我をした側溝には、31年度から順次、ふたがけをしていく。



※暗渠（あんきょ）…地下水路のこと



さの かつし  
**佐野 孜** 議員  
(政正会)

**富士宮北部の自然環境と再生対策**

**問** ①人工林の台風による倒木の処理 ②小田貫湿原等の自然環境の保全対策 ③各河川の汚染の度合いと浄化対策

**部長** ①県による「森の力再生事業」により森林所有者の了解を得て森林事業体等が森林を復元させるため倒木を片付け、自生する樹種を誘導する ②春と秋の年2回ススキの火入れを実施し、草原の景観を保持する。小田貫湿原は平成31年度から3年かけて地質や水の流出入状態等を調査し、乾燥化防止対策の策定まで行う予定 ③水質検査では、芝川水系は北山用水取水口で、潤井川水系は富丘橋で測定。現在は環境基準達成。家庭生活排水は、浄化槽の適正な維持管理。工場等の浄化対策は、県と協力し排水を監視。在来水生生物の再生対策は、植生等の浄化機能を守り、自然

の再生能力を高める。

**国立病院機構静岡富士病院の移転による影響**

**問** 重症心身障がい者の受け入れ可能場所は。

**部長** 個々の事情に即した障害福祉サービスを提供するため、相談支援事業所と連携し、専門の相談員による個別相談支援や、障害福祉サービス事業所につなぐ支援を行っているので、その場合は、問い合わせいただきたい。

**学校教育環境の整備に対する取り組み**

**問** ①校舎の構造上の安全対策 ②学校に不審者が侵入した場合の対策

**部長** ①生徒の昇降口の扉の方式は現状では統一できないが、滑り止めは毎年実施している。

**教育長** ②学校では登下校中を含め、不審者に遭遇したときの自分の身は、自分で守ることができるよう、警察等関係機関の協力を得ながら防犯教室を開催。また、避難訓練の際に、地震や火災だけでなく、不審者が侵入してきたときの想定で訓練を実施している。教職員に影響が及ぶ場合は、生徒指導担当などの教職員が対応。